

# HOPES

ホープス セカンド

2nd

「いろいろなお話を聞いています。帰り際には『ありがとう』『また来てね』と声もかけていただいで、うれしくなりますね」。

訪問と合わせて、「つながっ

## 「つながっぺ」へようこそ

庄司 美郷さん (前田・八和木)



今年の10月から、サポートセンター「つながっぺ」で生活支援相談員として勤務。サロンの送迎や帰村した家庭への訪問を担当しています。



1日の活動が終了すると、送迎車や利用者の自家用車をスタッフが見送ります。11月は書道や民謡に親しんだり、二本松の菊人形を見に遠足に出かけたりもしました。

「ペ」のサロンのお知らせも配布しています。サロンは平日の午前10時から午後3時まで。自分で来れる方は毎日でも利用できますが、送迎は地区ごとに曜日が決まっています。「送迎にうかがうと、『わざわざありがとう』『悪いわね』と言ってくださいますが、それが私たちの仕事。ぜひ利用してくださいと伝えていきます」。

一度来てみたら楽しくなると、通うようになる人もあるそうです。「登録をして、まず一度お試して来ていただけたらと思います」。

寒くなれば運動不足にもなりがち。サロンでは軽運動などとも体調に合わせて行えます。

美郷さんが仕事を始めるにあたって、「大変じゃなかったら、やってみたら」と背中を押してくれたのがご主人。3人の娘たちも、家事を手伝いながら、新しいチャレンジを応援してくれています。家族の応援を背に、利用者さんや訪問先に笑顔を届ける毎日です。

### 〈編集後記〉

●「走る選手の姿を見ていたら涙が出そうだ」ふくしま駅伝スタッフの当日の言葉です。駅伝取材はスタートからゴールまでの同行取材。今年も多くの課題を乗り越えて出場した村チームに取材兼エールを送りました。駅伝は、選手家族スタッフの力があつてのこと。皆さん、本当にお疲れさまでした。来年の力走も期待していますー(木幡)

●介護や介護予防の現場におしゃまして、年を重ねた皆様の含蓄のあるお話を聞き、優しく触れ、その暮らしを支える側のお仕事の意義深さにも心を動かされた今号でした。制度の運用やサービスの充実には人の力が不可欠。ニーズが高まる中での人材確保は本当に大変だとも実感しました。月館の介護事業所「おてひめ」が村内の訪問介護を始めた経緯には村出身の管理者・長正浩明さんの「地元の方に」という思いがあつたそう。たくさん思いが重なって歩一歩が生まれていることを改めて思いました。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。